

# ○方針別基本計画実績等一覧(全67施策(所属別評価:75項目))

資料1

A	: 計画どおり	(達成率75%以上)	57
B	: おおむね計画どおり	(達成率75%未満~50%以上)	17
C	: あまり進んでいない	(達成率50%未満~25%以上)	1
D	: まったく進んでいない	(達成率25%未満)	0

方向性	単位施策	施策の内容	平成30年度実績		
			実施した取組内容と成果及び課題	評価	担当課
1-1	自然とのふれあい・居住	<p>・レクリエーションや環境学習、保全活動などを通じて、豊かな自然にふれあい親しむ機会や場づくりを充実します。</p>	<p>【取組内容】 環境学習会（自然環境に関する情報提供や学習の機会を提供） ・夏休みエコ講座親子の水源地教室（13名参加） ・カワゲラウォッチング（175名参加） ・環境フェア2019開催（約1200名参加） ・みたけの森で環境学習（共和中58名、御嵩小37名） 保全活動（希少野生生物や在来種の保全） ・前沢湿地保全事業（県森林環境基金事業＝伐採除伐等） ・町希少野生生物保護監視員によるパトロール</p> <p>【成果】 環境学習に関しては、小中学校で展開する学習のほか、町が主体となって展開する環境学習にも多くの参加者があり、自然に親しむ機会を前年度以上に提供できた。</p> <p>【課題】 自然に対する関心をより深めていただけるよう学習内容を工夫し、参加者を増やすための周知方法についても更に検討する必要がある。</p>	A	環境モデル都市推進室
		<p>・豊かな自然環境を求めて御嵩町にやってくる移住者の受け入れを促します。</p>	<p>【取組内容】 タウンプロモーションを展開するため、一般社団法人 移住・交流推進機構（JOIN）主催の移住相談イベント（東京ビッグサイト）に出展したほか、新たに民間ベンチャー企業主催の移住相談会（東京都渋谷区にて開催）にも出展し、御嵩町の魅力（自然環境、公共交通手段、子育て支援）を中心に移住のきっかけになるようPR活動を行った。また、出展時にはまちづくり課と連携して特産品販売事業者のPRを含めて実施するなど、移住・定住以外の要素も含めてPRを行った。</p> <p>【成果】 「移住」を掲げるイベントであっても、開催時期によってイベント参加者（移住希望者）は、子育て世帯は夏休み期間、高齢者世帯は秋以降など、参加する世帯層が異なるため、多種多様な資料を持ち込むのではなく、イベント内容や開催時期を考慮し、移住希望者の年齢層に合わせた資料等を提供する必要があることを学んだ。</p> <p>【課題】 農林課と連携して滞在型農業体験施設のPRを実施して町外からの利用者を増加させるとともに、当該施設を媒体とした関係人口及び交流人口の増加に繋げる必要がある。</p>	B	企画課
1-1	水辺環境と農地の保全	<p>・希少野生生物について、専門家などの協力を得て、生息状況の調査と保全のための対策を進めます。</p>	<p>【取組内容】 ・前沢湿地保全事業（町生物環境アドバイザー及び岐阜大学教授の協力） ・特定外来生物の駆除作業（町生物環境アドバイザーの協力） ・町公共工事における環境配慮指針に基づく、事業実施箇所の希少野生生物の状況確認（町生物環境アドバイザー）</p> <p>【成果】 上記の取組について、町生物環境アドバイザーと連携・協力をするなかで事業を継続的に実施できた。</p> <p>【課題】 町生物環境アドバイザーは、長年活動されている方が多く、若返りが進んでいない。専門的知識も必要とするので、新たな人材発掘について取り組む必要がある。</p>	B	環境モデル都市推進室

方向性	単位施策	施策の内容	平成30年度実績		
			実施した取組内容と成果及び課題	評価	担当課
1-1	水辺環境と農地の保全	・水辺環境や湿地、農業用ため池の保全を図ります。	<b>【取組内容】</b> ・各水利組合等により、ため池周辺の草刈り等が行われている。 ・大雨が予想されるとき等、水利組合へ文書により注意喚起した。 ・農業用ため池としての受益者が不在となったため池について、廃止に向けた地元との協議や説明会を実施した。 <b>【成果】</b> ため池等の適正管理がなされている。 <b>【課題】</b> ・水利組合の構成員の高齢化により維持管理が困難になりつつあり、人材確保の手法について検討する必要がある。 ・受益者、管理者の不在等に伴う管理困難ため池について、可茂農林事務所と協議しながら廃止について検討する必要がある。	A	農林課
		・農業の担い手確保や農地の集約により、農地の保全と遊休農地の解消を図ります。	<b>【取組内容】</b> 岐阜県、御嵩町、農協でサポートチームを結成し、新規就農者支援事業の対象者が計画的に耕作ができているか確認を行い、農業経営についての指導をしている。 <b>【成果】</b> ・新規就農者に適切な指導や情報提供を毎月1回程度がなされており、今後の営農活動につなげていける体制づくりができた。 ・過去に営農組合を中心とした集約化を進めることができた農地については、引き続き適正管理ができています。 <b>【課題】</b> サポートチームの体制強化と新規就農者の自立した農業経営へ向けた支援が必要である。	A	
1-1	里山や生態系の保全	・里山保全を行うボランティアへの参加促進や、企業との協働による森林づくり協定、森林経営信託により里山の保全を進めます。	<b>【取組内容】</b> ・東濃高校(6月 6名)森林体験学習を開催 ・御嵩小学校児童の特別授業への協力(6月、11月約160名) ・「企業との協働による森林づくり」による森林整備活動への協力 ・森林経営信託については施策計画に基づき16.55haの間伐を実施し、836㎡の木材を搬出した。 <b>【成果】</b> ・水土里隊に1名の新規入隊があった。 ・森林経営信託地を核として、新たに8.68haの私有林において可茂森林組合が森林経営を受託し森林整備を進めた。 <b>【課題】</b> ・水土里隊員の高齢化もあり、新規入隊者の確保について検討する必要がある。 ・森林経営信託契約が令和3年度に満了するため、契約を継続するべく整備箇所の選定等に関する協議を可茂森林組合と進める必要がある。	A	農林課
1-2	環境モデル都市の推進	・地域資源を最大限に活用し、低炭素化と持続的発展を両立する環境モデル都市の実現を図ります。	<b>【取組内容】</b> ・森林経営信託方式による計画的な森林整備(可茂森林組合) ・森林ボランティア(水土里隊)の活動による森林整備 ・企業との協働による森づくり(協定5社:岐阜造園、アサヒビール、東邦ガス、東海化成、十六銀行) 整備面積:森林経営信託 13.08ha、水土里隊 0.7ha、企業との協働 2.5ha ・現在、町有施設9ヶ所に太陽光発電設備を導入済である。 ・新庁舎への木質バイオマス熱利用設備導入の検討 <b>【成果】</b> 可茂森林組合による森林整備は計画通り進められ、また、企業との協働による森づくり実施事業者が増え、環境モデル都市行動計画における目標値(40ha)を達成するなど、さまざまな取り組みによる森林の再生が進んでいる。 <b>【課題】</b> 森林ボランティア(水土里隊)の高齢化に伴う担い手の減少及び森林整備にて伐採した枝葉などを木質バイオマス燃料として有効利用することや竹の有効利用が課題となっている。	A	環境モデル都市推進室

方向性	単位施策	施策の内容	平成30年度実績		
			実施した取組内容と成果及び課題	評価	担当課
1-2	循環型社会の形成	<p>・生ごみの堆肥化をはじめとするごみ減量への取組を促進するとともに、環境にやさしい商品（グリーン製品）の利用拡大、ごみの分別収集の徹底などを推進し、3R（Reduce発生抑制、Reuse再使用、Recycle再生利用）に積極的に取り組みます。</p>	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンボールコンポスト、生ごみ処理機等の購入補助の継続・周知活動の継続を行った。</li> <li>・生活学校リサイクルステーション（隔月開催）、あゆみ館リサイクルステーション（月～金曜日常設）を開催し自治会や7パートなどによる資源物の分別や、子供会、PTA等の資源回収により、廃棄物の減量、再利用の推進を図った。</li> <li>・グリーンカーテン作成講座、作った作物を利用するエコクッキング教室、料理から出た生ごみを堆肥化するダンボールコンポスト講座を開催し3Rの取り組み周知を行った。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金交付状況（設置型コンポスト2件、ダンボールコンポストセット6件、電動式等生ごみ処理機6件、剪定枝葉粉砕機6件、堆肥化密封容器2件）</li> <li>・可燃ごみ搬入量は約28t削減（H29：2,591t→H30：2,563t）、プラスチック製容器包装収集量前年度より増加（H29：78,540kg→H30：81,270kg）</li> <li>・分別資源収集にて回収した廃食用油をバイオディーゼル燃料に精製し、住民環境課2tトラックの燃料として1,440ℓ使用した。</li> <li>・グリーンカーテン講座に32名、エコクッキング講座に13名、ダンボールコンポスト講座に15名の参加があった。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般系の可燃ごみのさらなる減量化を図るために、再利用のシステム構築が課題となっている。</li> </ul> </li></ul>	A	住民環境課
		<p>・ささゆりクリーンパークの効率的な運営を関係市町村と進めるとともに、南山一般廃棄物処分場の適正管理を進めます。</p>	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南山一般廃棄物処分場への搬入希望者に対する搬入物の検査確認を行い、不法廃棄物が搬入されることの無いよう管理。</li> <li>・年に一回、岐阜県による南山一般廃棄物処分場の管理検査の実施、岐阜県の立ち合いのもと、処分場の廃棄状況を確認し、年間投棄量の報告の実施。</li> <li>・毎月、処分場の水質検査を実施。</li> <li>・可茂管内市町村の廃棄物担当者間で、食品ロス問題・有害鳥獣の焼却問題の勉強会部会を発足し、ささゆりクリーンパークの効率的な運営について研究している。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・32件の投棄申請があり、すべて搬入物の検査を行い、不適正なものが搬入されないよう管理を行った。</li> <li>・岐阜県の立入検査により、指摘事項なく適正に管理されていることが確認できた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理人が常駐していないため、不法投棄を抑制することができないことが課題。</li> </ul>	A	
		<p>・森林の再生、公共交通の再生と次世代自動車への転換、家庭・事業所での削減活動、分散型エネルギーへのシフト、人づくり・場づくりの推進など、環境モデル都市行動計画に定める施策の具現化を着実に進めます。</p>	<p>【取組内容】</p> <p>各施策の代表的な実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林の再生＝上記（1-2 環境モデル都市の推進）に記載</li> <li>・公共交通の再生（名鉄大見線の活性化イベント実施）と次世代自動車への転換（防災訓練でのEV車啓発）</li> <li>・家庭・事業所での削減活動（節電チャレンジ2018実施やJクレジット販売による企業のオフセット実施）</li> <li>・分散型エネルギーへのシフト＝上記（1-2 環境モデル都市の推進）に記載</li> <li>・人づくり・場づくりの推進（北海道下川町に本町生徒が森林体験学習を行った。また、島根県とも「全国植樹祭しまね2020」に向けてお互いの木を交換して育てた苗を交換する取り組みを開始し、交流を深めている。）</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各部署にて展開する事業等により、環境モデル都市行動計画の進捗が順調に図られており、その実績を内閣府に報告している（公表済）。今年度内閣府に提出した資料上では、H28年度値で二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）排出量は昨年度比4.8%の減となった。</li> <li>・下川町や島根県との交流を通じ、本町の児童が環境に関心を深めて取り組む姿が見られた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境モデル都市行動計画の目標としている温室効果ガスの削減（H30年度の削減率がH21年度比10%削減）について、産業部門、家庭部門の取り組みを重点的に行う必要がある。</li> </ul>	B	環境モデル都市推進室

方向性	単位施策	施策の内容	平成30年度実績		
			実施した取組内容と成果及び課題	評価	担当課
2-1	学校単位でのづくり	<p>・一人ひとりの子どもが、よりよい生活を生みだすことができる、生きる力を育むために、確かな学力を身に着ける指導を充実します。</p>	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上推進：教育委員会作成の事業構想図をもとに各校において推進計画を作成し、主題研究を中心に実践を進めている。「授業改善」、「幼保小中高を見通した教育」、「家庭地域の教育力活用」、「自治活動の推進」の4観点を重視し、「カリキュラム・マネジメントの充実」にも力を入れて取り組んだ。</li> <li>・小中連携：3中学校区ともに3回の交流会を行い、授業改善、校種連携等に取り組んだ。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校から中学校への滑らかな接続のために、互いに大切にしていけることを共通理解し実践していくことの重要性を再確認できた。</li> <li>・30年度の拡大交流会は共和中学校で実施し、町内全教職員が集まり、共和中学校の1年間の実践を理解した。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も各教師の指導案の点検、教科指導力の向上に向けて連携して取り組み、切磋琢磨を重ねていく必要がある。</li> </ul>	A	学校教育課
		<p>・子どもが健全に育ち学び続けることができるように、幼稚園・保育園・小学校・中学校が連携した教育を進めます。</p>	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度までの実績をもとに、合同教科部会や相互の全校研究会への参加、兼務の授業等を実施した。中学校区の職員は、学び方づくりや生き方づくり、体づくりの各部会に分かれ、それぞれの部会の取組に工夫を凝らしている。</li> <li>・幼保小長懇談会を実施して、滑らかな接続のために幼稚園、保育園、小学校の交流をした。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アプローチカリキュラムやスタートカリキュラムを作成することで幼稚園、保育園から小学校への滑らかな接続のための実践を積み上げることができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中交流会が充実し、小中連携は年々深まっており、学力・体力の向上には各校区で工夫しながら成果を上げた。今後は高校との連携も一層取り組んでいく必要がある。</li> </ul>	A	
		<p>・グローバル化や情報化などの社会環境の急速な変化にも対応することができるように、外国語教育、ICT教育など特色ある教育を推進し、人材を育成します。</p>	<p>(外国語教育)</p> <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTは日本語に精通しており、子どもたちの実態に応じた楽しい英語活動を実践した。</li> <li>・併せて外国語教育指導員を活用し、各校における外国語活動の充実に努めた。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7/27に小学生22名によるサマーワークショップを実施し、東濃高校の外国籍生徒3名が参加協力した。</li> <li>・8/22の教育の集いでは、中学生3名による英語スピーチの発表会を実施した。</li> <li>・2名のALTは明るく穏やかな人柄で子どもたちからも慕われており、楽しい授業を展開している。外国語教育指導員の指導により、教師の授業力も伸びてきている。All Englishの授業が浸透しつつあり、一層コミュニケーション能力の向上を図っていく。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東濃高校の外国籍生徒を外国語活動や英語の指導者としてさらに活用していきたい。</li> </ul> <p>(ICT教育)</p> <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校3校のパソコン教室パソコンをクレードル型(タブレット端末)に更新した。</li> <li>・小学校3校のパソコン教室にプログラミング学習ソフトを導入した。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末は合計で97台を更新導入した。また、教職員の研修を夏休みに実施、使用方法を確認した。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科学習webシステムに対応していくとともに、授業での更なる活用を図っていく必要がある。</li> <li>・プログラミングソフトを活用した授業学習を効果的に展開していく必要がある。</li> </ul>	A	
		<p>・地域と家庭と学校の連携を強化して、開かれた学校運営と地域における教育を進めます。</p>	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとふれあい夢づくり事業を継続実施し、小学校では菊づくりや米づくり、大豆づくり等、地域の人材と連携しながら取り組んだ。</li> <li>・中学校では環境学習や職場体験などに取り組むとともに、地域行事へのボランティア参加など地域に働きかける活動を展開した。</li> <li>・御嵩町としてカリキュラム・マネジメント事業を推進し、地域資源や地域の人材から学ぶ「私の教育課程づくり」に取り組み始めた。</li> <li>・学校運営協議会を上之郷小学校、上之郷中学校、伏見小学校に設置し、地域とともにある学校教育の実践に取り組んだ。</li> </ul> <p>【成果】</p> <p>地域の特色を生かしながら発達段階に応じた体験活動をプログラム化し、地域の方々と関わるることができた。</p> <p>【課題】</p> <p>今後も各学校下での地域特色を活用した教育の推進に努めていく必要がある。</p>	A	

方向性	単位施策	施策の内容	平成30年度実績		
			実施した取組内容と成果及び課題	評価	担当課
2-1	ふるさと教育の推進	・地域とともに、子どもが地域にふれあう機会を充実し、ふるさとへの愛着を育むとともに、地域づくりに必要な豊かな発想を持つ人材を育成します。	<b>【取組内容】</b> 『愛の絵手紙&一行詩』の取り組みを行った。 <b>【成果】</b> ・平成30年度は、合計で1,938点の応募があり、前年の1,915点を上回った。 ・平成29年度に引き続き1人1点の応募や審査方法などの見直しを行ったことで、作品の審査などをスムーズに行うことができた。また、展示場所・表彰式会場を中山道みたけ館から中公民館に移したことで、表彰式会場が広くなり表彰者の家族など多くの方が表彰式に参加いただけた。 <b>【課題】</b> 今後、募集要項の見直しや絵手紙講座開催時期、展示場所について再検討する必要がある。	A	生涯学習課
2-2		・町民や特に次世代を担う子どもたちがふるさと「みたけ」に誇りを持つように、魅力ある催しや地域活動の展開を支援します。	<b>【取組内容】</b> ・乳幼児期・幼保期・小学校期・中学校期と0歳から15歳まで繋がる家庭教育学級を推進した。 ・保健センターと連携し0歳児学級加入の促進を実施した。 <b>【成果】</b> ・6/23に行った家庭教育学級合同講演会では、町内の中高生に託児ボランティアを依頼し39名の参加があった。事故やケガもなく乳幼児に親しみを持って触れ合える良い機会となった。 ・11/3に行った乳幼児家族学級では、町内の中高生20名のボランティアの参加があり学級生のサポートを行った。 <b>【課題】</b> 学級参加者の増加、父親の積極的な参加を図るために学級活動内容や開催時期の見直し、広報以外にもSNSによる活動報告など、周知方法を検討する必要がある。		
2-1	青少年の健全育成	・家族の絆を深めることができるように、家庭教育を継続的に支援します。	<b>【取組内容】</b> ・各関係機関と協働し、すべての学級で一家庭一実践の取り組みを実施した。 ・11/3の中山道往来に合わせて、企画課やまちづくり課と連携し、生活学校などの協力を得て家族学級を行い、家族のふれあいの場を設けた。 <b>【成果】</b> 当日は40組100名程の親子が名鉄電車を利用して、御嵩駅や明智駅付近でのウォークラリーなどを楽しんでいただいた。祖父母の参加もあり家族の絆を深めるツールとなった。 <b>【課題】</b> 御嵩駅前、中山道みたけ館前に交通安全協会御嵩支部の協力で安全に誘導ができたが、行事が重なるため次年度は、協力できない可能性があると言われている。誘導員の確保、またはコースの見直しを検討する必要がある。	A	生涯学習課
3-3		・青少年が非行や犯罪に巻き込まれないように、自立心や社会性を育む体験活動などへの参加促進や社会参加の機会を提供するなど、青少年の健全育成を進めます。	<b>【取組内容】</b> ・あいさつ運動・街頭啓発活動・大型店舗パトロールなど、青少年の健全育成活動を推進した。 ・平成25年度よりスタートした『おSUN歩あるきたい』を自治会等へ積極的に参加の呼びかけを行った。 ・12/1、郡PTAと連携して可児郡PTA研究大会と青少年育成町民大会を同時開催した。 <b>【成果】</b> 『おSUN歩あるきたい』参加者数：H29末 599人→H30末601人 参加者の増加により児童の登下校時の見守り活動が強化されている。 <b>【課題】</b> 郡PTA評議員会では、第3日曜日の翌日に青少年育成町民会議のあいさつ運動を実施している。健全育成の機運を高めるため、全町的にあいさつ運動が広がっていくように周知、啓発について検討する必要がある。 おSUN歩あるきたいの活動が停滞してきているため、再編等を検討する必要がある。		
2-2	人権の尊重	・町民一人ひとりが家庭や学校や職場、地域社会のあらゆる場面で人権を尊重して行動し、性別や出身地・国、文化的背景などの差別をなくし、みんなが共生する明るく住みやすい社会を築きます。	<b>【取組内容】</b> ・人権擁護委員による保育園・幼稚園での人権紙芝居の上演及び小学校の人権集会へ参加するなどの人権教育活動や、人権擁護委員による町内企業での啓発活動を実施。小学生への人権啓発標語入り物品等を配布。家庭・学校・職場・地域社会への人権尊重に関する意識啓発につなげる活動をおこなった。 ・人権子育て講演会（6月：約100人参加）・ふれあい人権講演会（12月：約100人参加）・人権映画会（1月：約200人参加）を開催し、町民の方々に人権について考えるイベントを開催した。 ・御嵩町人権教育・啓発推進協議会において、「御嵩町人権施策推進指針」の推進状況を確認した。 <b>【成果】</b> 幼児、児童、生徒、企業および一般町民に対し、人権教育、人権啓発を図ることにより、明るく住みやすい町づくりを築いている。 <b>【課題】</b> インターネットによる人権侵害、感染症患者等の人権、性同一性障がい者・性的指向の異なる人の人権等さまざまな人権問題があり、理解と認識を深める必要がある。	A	福祉課

方向性	単位施策	施策の内容	平成30年度実績		
			実施した取組内容と成果及び課題	評価	担当課
2-2	男女共同参画の推進	<p>・町民一人ひとりが固定的な性別役割分担にとらわれず、互いに尊重しあい、自分らしい生き方を実現できるまちを目指します。</p>	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度に策定した御嵩町第3次男女共同参画プランにおける成果指標22項目と具体的な取組実績80項目についての調査を行い結果を取りまとめた。その結果を、庁内の推進会議および男女共同参画懇話会へ報告した。</li> <li>・懇話会委員による寄稿文の広報掲載（毎月）、男女共同参画週間の周知、人権講演会での啓発活動を通して、住民への意識啓発を行った。</li> <li>・20歳以上の町民1,000名を対象にした、男女共同参画に関する住民意識調査を実施した。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町民向けに「自分らしく生きる」をテーマとした講演会とワークショップを実施し、12名の参加があった。</li> <li>・役場男性職員の育児休暇取得については、6名中4名が取得した。</li> <li>・住民意識調査では402件の有効回答が得られ、その結果を庁内の推進会議と懇話会に報告し、町HPにて公開した。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内の推進会議および男女共同参画懇話会にて発出された意見をヒントに課題解決とさらなる推進を図る必要がある。</li> <li>・御嵩町第3次男女共同参画プランにおける平成31年度の目標に対して、多くの指標・実績が順調に推移しているため、さらなる推進のためにサポートできる体制を整えていく。</li> <li>・住民への意識啓発にあつては、SNSやケーブルテレビ等、より多様な媒体による周知を検討する必要がある。</li> <li>・男女共同参画に関する講演会の実施に際しては、より多くの来場が見込めるテーマの選出、ワークショップ形式のような能動的なプログラムの採用、多様な告知方法を実施する必要がある。</li> <li>・住民意識調査の結果を踏まえ、さらなる男女共同参画社会の実現に向けた御嵩町第4次男女共同参画プランを新たに策定する必要がある。</li> </ul>	A	企画課
2-2	生涯学習の推進	<p>・町民の心豊かな生活や生きがいがづくりに、地域の特性に応じた公民館活動の充実と、町民が気軽に参加することができ、世代間や他地域との交流ができる生涯学習の機会を充実します。</p>	<p>【取組内容】</p> <p>公民館講座と公民館行事の支援として、4公民館の地域性と指導者の持ち味を生かした講座を展開した。</p> <p>【成果】</p> <p>地域の人材による加えて東濃実業高校の生徒を講師に迎えてパソコン講座や東濃高校生の作品展示など高校と連携して取り組むことができた。</p> <p>【課題】</p> <p>今後、さらに地域の人材の確保や講座からサークルへの発展、東濃高校生の講師依頼ができる講座の検討をする必要がある。また、地域子ども教室の参加者確保のため開催内容や時期など見直す必要がある。御嵩公民館のたんぼの学校は、御嵩小学校区以外や町外からの参加者を受け入れた他地域との交流ができている。全公民館で他地域との交流ができる講座の企画や募集をしていく必要がある。</p>	A	生涯学習課
		<p>・成熟社会を迎えている中で地域においてますます求められる、歴史文化の継承、環境、福祉、健康づくり、食育、地域産業、ボランティア活動などを学ぶ機会を充実するとともに、その経験を生かすことができる機会を提供します。</p>	<p>【取組内容】</p> <p>住民のニーズに応える成人講座を展開した。 (各講座 全7回) 出席総数 741名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「御嵩を知る」 男性9名・女性28名計37名 延べ206名</li> <li>・「大人の総合学習と英会話」 男性2名・女性11名 計13名 延べ77名</li> <li>・「古典文学」 男性3名・女性24名 計27名 延べ144名</li> <li>・「手作り工芸」 女性20名 計20名 延べ114名</li> <li>・「いきいき健康」 女性37名 計37名 延べ200名</li> </ul> <p>【成果】</p> <p>講座内でグループを作り、そこに班長、受付、司会者、片付け係など一人一役を受け持つことで「してもら講座」から「自分たちで取り組む講座」へ意識変化が見られた。</p> <p>【課題】</p> <p>今後の主体的な活動を生み出す組織的活動への発展について検討する必要がある。</p>	A	
		<p>・地域とともに、子どもが地域にふれあう機会を充実し、ふるさとへの愛着を育むとともに、地域づくりに必要な豊かな発想を持つ人材を育成します。</p>	<p>【取組内容】</p> <p>地域の中で多様な経験や技能を持つ人材等の協力により、土曜日等に地域文化の伝承や農業体験学習や手話体験などの「地域子ども教室」を各公民館で開催し、豊かな創造性や人と環境にやさしい意識を育むための機会とし、子どもたちのより豊かで有意義な土曜日等の場とした。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「上之郷公民館」 茶道教室外 大人 6名・子ども 50名</li> <li>・「御嵩公民館」 たんぼの学校他 大人 253名・子ども161名</li> <li>・「中公民館」 野菜塾他 大人66名・子ども 34名</li> <li>・「伏見公民館」 座禅会他 大人 27名・子ども 25名</li> <li>・「ダンクキッズ」 バスケットボール 大人 68名・子ども 245名</li> </ul> <p>【課題】</p> <p>今後も参加者への周知方法や確保の仕方、地域コーディネーターの設置、活動ボランティアの確保などが課題となっている。</p>	A	

方向性	単位施策	施策の内容	平成30年度実績		
			実施した取組内容と成果及び課題	評価	担当課
3-1	地域自治の強化	<p>・地域における防災や防犯、地域福祉、環境保全などの活動の必要性について自治会・町民の理解を促し、住民自治力を強化します。</p> <p>・地域で防犯や防災などに取り組むためのコミュニティリーダーを育成するとともに、子育て支援や健康づくりなど町民が交流する機会づくりや、集会所の整備などを支援します。</p>	<p>【取組内容】 自治会活動に対し、自治振興報償費を交付し、活動の支援を行った。</p> <p>【成果】 自治会連絡協議会を開催するなどして、地域自治会活動の連携や情報交換をすることができた。</p> <p>【課題】 自治会未加入者が増加傾向にあるため、自治会長連絡協議会で協議し、転入世帯に対し自治会加入促進のチラシを渡し説明と案内を行っているが、自治会への加入は強制ではないため対策に苦慮している。</p>	B	住民環境課
			<p>【取組内容】 集会所の整備について、建設や改修に必要な資金の一部を補助することにより、集会所の充実を図った。</p> <p>【成果】 平成30年度は、2自治会 621,000円を補助した。また、西田自治会の集会所新設に伴い、コミュニティ助成事業補助金の交付を受け、同自治会へ11,800,000円を交付した。</p> <p>【課題】 今後も集会所の耐震化等が進んでいくよう補助制度の周知、啓発を継続する必要がある。</p>	A	
			<p>【取組内容】 平成24年度～30年度に認定した防災リーダーについて、フォローアップ研修として避難所運営指導者養成講座を実施した。また、御嵩地区防災リーダー会においても独自に避難所運営訓練を実施し、防災リーダーのスキルアップを図った。</p> <p>【成果】 「御嵩町防災アカデミー」を開講し、防災リーダーが30名誕生し、内15名が防災士を取得した。また、高校生を対象に防災アカデミーを開講し、防災リーダーが19名誕生し、内12名が防災士を取得した。</p> <p>【課題】 防災リーダー会の役割・方向性を確定し、地域が主体となって行動してもらうための手法を検討する必要がある。</p>	A	総務防災課
			<p>【取組内容】 子育てに関する不安や子育て中の保護者の孤立の状況の軽減を図り、日常の子育てを楽しく安心して出来るよう、子育て支援センター「ぼっぼかん」を中心として子育て相談や親子教室、出前保育等様々な支援事業を実施した。</p> <p>【成果】 ぼっぼかんへ来館することで、子育て情報の取得や保護者同士が交流するだけでなく、ふれあいサロンを利用するなかで多世代交流が図られ、子育て支援のひとつとして役立てることができた。 (平成30年度 ぼっぼかん利用者) 子ども 8,376人、おとな 7,103人 (平成30年度 ふれあいサロン利用者) センター 4,285人、一般 1,323人、チケット59人</p> <p>【課題】 保健センターでの健診等で施設の紹介をするなど相談機関に繋げる策を充実し、子育てに関する不安や孤立が児童虐待につながることはないよう、未然防止によりいっそう努める必要である。</p>	A	福祉課
			<p>【取組内容】 各種教室等において説明するなどして、ボランティアポイント制度「げんきボランティア65」の周知啓発、利用拡大を図った。</p> <p>【成果】 ・新たに1団体がボランティア活動の指定を受け、指定を受けた団体は22団体となった。また、新たに306人にボランティア登録を行っていただいた。 ・サロン等の憩いの場や演奏等の活動により、ボランティアを受ける側、行う側双方のの生きがいにもつなげることができた。</p> <p>【課題】 ボランティアポイントの利用者の拡大を含め、介護給付の増加の歯止めとなるような地域での活動の場の発掘や支援を行う必要がある。</p>	B	保険長寿課

方向性	単位施策	施策の内容	平成30年度実績		
			実施した取組内容と成果及び課題	評価	担当課
3-1	地域防災活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域が主体となって、地域の課題を把握して、みんなでより良い地域をめざすためのビジョンや計画づくりを支援します。</li> </ul>	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練において避難所の運営を防災リーダーが主体となって行った。</li> <li>・御嵩地区防災リーダー会において独自に避難所運営訓練を実施しスキルアップを図った。</li> </ul> <p>【成果】</p> <p>地域が主体となった訓練の実施等、地域を地域で守るという気持ちが見え始めた。</p> <p>【課題】</p> <p>防災リーダーが不在となっている自治会について、防災リーダー誕生へ向けて働きかけを行う必要がある。</p>	B	総務防災課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域において自助、共助の意識を高めるとともに、自分たちの住む地域を守るためのハザードマップづくり、防災訓練などの取組を促します。</li> </ul>	<p>【取組内容】</p> <p>防災訓練では、各会場において非常用持ち出し袋講習を実施し、「自助」の意識づけを図った。また、防災コミュニティセンターにおいて、耐震性貯水槽を使用して応急給水所開設訓練及びボランティアセンター立ち上げ訓練を行った。</p> <p>【成果】</p> <p>防災訓練の参加者は昨年度並みであった。</p> <p>【課題】</p> <p>防災訓練において、今後さらに参加者を増やし、いかに多くの自治会に参加していただけるか検討する必要がある。</p>		
3-1 3-2	地域福祉活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるように、地域や社会福祉協議会、事業所、NPO、ボランティアなどと連携して、地域福祉の担い手の育成や生活支援などの地域福祉活動の充実を図ります。</li> </ul>	<p>【取組内容】</p> <p>ボランティアセンターと行政との協力体制を強化したことにより、ボランティア育成及びボランティア活動の充実を図った。</p> <p>【成果】</p> <p>「ちょこっと支え合いサポーター」として17名が活動した。</p> <p>ボランティア活動のべ303日、個人のべ368人、団体のべ48団体</p> <p>障がい者の利用が平均して月3件あった。（福祉車両の運転）</p> <p>【課題】</p> <p>ボランティアの充実育成のためボランティア育成講座の定期的な開催が必要である。</p>	A	福祉課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者や障がい者が住み慣れた地域や家で生活することができるように、適切な介護サービスや在宅福祉サービスの提供、介護予防や生きがいづくりの支援、個別の障がいに応じたケアなど、地域における包括的な福祉サービスを提供します。</li> </ul>	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・御嵩町生活支援体制整備事業実施要項に基づき、町内全域において活動する第1層協議体の活動として現状や課題の検討会を5回実施したほか、地域の支えあいを啓発するフォーラムを実施した。</li> <li>・校区や自治会等を活動範囲とする第2層の協議体の設置に向けて各地区で研修会を実施した。</li> </ul> <p>【成果】</p> <p>第2層協議体が2団体設置された。</p> <p>【課題】</p> <p>各地区で第2層協議体が設置されるよう働きかけを行い、設置に向けた調整・支援や住民への周知等を行う必要がある。また、地区によって抱えている課題が異なるため、地区ごとの固有の課題について整理していく必要がある。</p>		
3-2	高齢者福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者や障がい者が住み慣れた地域や家で生活することができるように、適切な介護サービスや在宅福祉サービスの提供、介護予防や生きがいづくりの支援、個別の障がいに応じたケアなど、地域における包括的な福祉サービスを提供します。</li> </ul>	<p>【取組内容】</p> <p>各種教室等において説明するなどして、ボランティアポイント制度「げんきボランティア65」の周知啓発、利用拡大を図った。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに1団体がボランティア活動の指定を受け、指定を受けた団体は22団体となった。また、新たに306人にボランティア登録を行っていただいた。</li> <li>・サロン等の憩いの場や演奏等の活動により、ボランティアを受ける側、行う側双方のの生きがいにもつなげることができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <p>ボランティアポイントの利用者の拡大を含め、介護給付の増加の歯止めとなるような地域での活動の場の発掘や支援を行う必要がある。</p>	B	保険長寿課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者や障がい者が住み慣れた地域や家で生活することができるように、適切な介護サービスや在宅福祉サービスの提供、介護予防や生きがいづくりの支援、個別の障がいに応じたケアなど、地域における包括的な福祉サービスを提供します。</li> </ul>	<p>【取組内容】</p> <p>障がい福祉サービス利用者に対するケース会議（町、相談支援専門員、サービス提供事業者、本人）を行い、自立に向けた調整や生活支援を実施した。また、相談支援体制の充実のため町が基幹相談支援センターとなるよう機能強化した。</p> <p>【成果】</p> <p>ケース会議を全32回開催した。障がい者地域生活拠点整備事業実施要綱を制定した。</p> <p>【課題】</p> <p>高齢者は包括支援センターでの支援が充実しているが、障がい者は幼児期から高齢者までのすべてが対象となり、身体・知的・精神など障害の程度によって支援体制が異なる。町内事業者等では、相談支援体制に限りがあるため、圏域内で面的な機能強化を図っていく必要がある。</p>		

方向性	単位施策	施策の内容	平成30年度実績		
			実施した取組内容と成果及び課題		評価
3-2	障がい者福祉の充実	・障がいについての町民の理解を促進するとともに、障がい者の就労や社会参加の拡大を図ります。	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就労移行支援のための相談を受けるなど、社会参加の手助けを行った。</li> <li>・「御嵩町障がい者支えあいプラン」に基づき、御嵩町地域生活拠点整備事業実施要綱を制定し、地域生活支援拠点の整備をおこなった。</li> </ul> <p>【成果】</p> <p>地域支援事業の社会参加助成補助金について随時窓口で説明を行い、461人に助成した。</p> <p>【課題】</p> <p>地域生活支援拠点等の整備はしたが、町外の事業者であるため、町内外で連携を図り、面的な相談支援体制を強化していく必要がある。</p>	B	福祉課
3-2		・子育て世代や高齢者、障がい者の身近な地域における生活を支えるために、地域に密着した生活支援サービスを充実します。	<p>【取組内容】</p> <p>子育てに関する不安や子育て中の保護者の孤立の状況の軽減を図り、日常の子育てを楽しく安心して出来るよう、子育て支援センター「ぼっぼかん」を中心として子育て相談や親子教室、出前保育等様々な支援事業を実施した。</p> <p>【成果】</p> <p>ぼっぼかんへ来館することで、子育て情報の取得や保護者同志が交流するだけでなく、ふれあいサロンを利用するなかで多世代交流が図られ、子育て支援のひとつとして役立てることができた。</p> <p>(平成30年度 ぼっぼかん利用者)</p> <p>子ども 8,376人、おとな 7,103人</p> <p>(平成30年度 ふれあいサロン利用者)</p> <p>センター 4,285人、一般 1,323人、チケット59人</p> <p>【課題】</p> <p>保健センターでの健診等で施設の紹介をするなど相談機関に繋げる策を充実し、子育てに関する不安や孤立が児童虐待につながるこないよう、未然防止によりいっそう努める必要である。</p>	A	
3-2	子育て支援の充実	・多様な保育サービスの実施や子育て支援サービスを充実して、快適に子育てができるまちとしての魅力を高めます。	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な保育サービスとして休日保育、一時預かり保育、病児保育を実施した。</li> <li>・子育て支援サービスとしてファミリー・サポート・センターを運用した。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休日保育を延べ36人、一時預かり保育を延べ1,014人、可児市に広域委託している病児保育（可児さくら保育園、梶の木保育園）を延べ2人が利用した。</li> <li>・ファミリー・サポート・センターの利用が12回あった。また、保健師の赤ちゃん訪問時に配布したファミサポの無料券を活用しての利用が5回あった。</li> </ul> <p>【課題】</p> <p>利用方法や子育ての悩みなど、相談体制の一元化、わかりやすい相談体制を検討する必要がある。</p>	A	福祉課
3-2		・妊娠期から子育て期まで、途切れのない支援と親に寄り添う支援を充実し、安心して子育てができるように努めます。	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども・子育て支援事業計画に基づき妊娠期から子育て期までの途切れのない事業を実施した。</li> <li>・要保護児童対策及びDV防止対策地域協議会における実務者会議（年6回）で進捗状況を共有しながら、各機関が連携した支援を行った。</li> <li>・育児相談、幼児相談、ことばの教室など子育てに関する心配事に対する支援事業を実施した。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援が必要な子育て世帯に対しては、保健センター、保育園、ことばの教室など関係部署が情報を共有してケース会議などを実施し、連携して対応することにより、子育て世帯に寄り添い、安心して子育てができる環境を整えている。</li> </ul> <p>&lt;保健センター実施事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワイワイひろば（毎月開催）…延べ171人の児とその保護者に対し実施</li> <li>・幼児相談（24回開催）…延べ76人に対し実施</li> </ul> <p>(K式検査：延べ63人、相談のみ：延べ13人)</p> <p>【課題】</p> <p>妊娠期から幼児期、そして学童期へのつながり支援体制を強化できるように、入園前・入園後～就園前・就学後と子の年齢に合わせ各部署にコーディネーターを置き、窓口の一本化と組織体制の変更を検討する必要がある。</p>	A	

方向性	単位施策	施策の内容	平成30年度実績		
			実施した取組内容と成果及び課題	評価	担当課
3-3	地域防災体制の強化	<p>・地域防災計画の見直しを進めるとともに、防災情報の伝達体制の充実や防災拠点の充実など、町の防災体制を強化します。</p>	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防災計画の見直しに向けて、平成29年度の県の改正内容などを入手し、改定案を策定を検討した。</li> <li>・スマートフォン端末で防災行政無線の放送内容が確認できるよう防災情報アプリの配信を開始した。</li> <li>・防災拠点としての機能強化に繋がる新庁舎の建設に向け、基本構想の策定、基本計画の策定に向けた検討、用地買収に向けた地権者との交渉等を行った。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ボランティアや支援物資の受け入れ拠点として建設した防災コミュニティセンターについて、平常時は筋力トレーニングの実施など地域の交流の場として活用するほか、消防団の活動拠点として活用している。</li> <li>・防災情報アプリの配信により、いつでも、どこでも防災行政無線の情報を入手することが可能となった。</li> <li>・新庁舎整備の基本理念・基本方針を定めた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災コミュニティセンターの有効活用及び防災情報アプリをいかに多くの方に活用していただけるようにするかが課題となる。</li> <li>・新庁舎については、用地交渉の継続、基本計画の策定、基本設計の実施等を速やかに実施する必要がある。</li> </ul>	A	総務防災課
		<p>・自治会単位で自主防災組織の創設を促すとともに、防災倉庫や資機材などの充実、防災リーダーの育成、防災訓練や避難行動要支援者の避難訓練などを進めて、地域主体の防災体制を強化します。</p>	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織活性化研修を6月に開催し、各自治会長及び防災組織の長を集め、防災訓練への参加や、防災施設を整備する際の補助金等について説明し、啓発を行った。</li> <li>・防災訓練において、要支援者の安否確認から避難訓練までを実施し、災害弱者への体制強化を図った。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災リーダーの育成については、防災アカデミーを開催し、新たに30名の防災リーダーが誕生した。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防災の中心となる防災リーダーが不在となっている自治会に対して積極的に取り組んでいただけるよう手法を検討する必要がある。</li> </ul>	A	
3-3	防犯活動の推進	<p>・地域における防犯力を高めるために、不審者情報の伝達を行うとともに、自主的な児童生徒の登下校時の見守り、防犯パトロールなどの活動の強化に取り組みます。</p>	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区の地域安全指導員とともに各地区の見回りを行った。</li> <li>・児童生徒が登校する際には交通安全協会が見守りを行った。</li> <li>・町職員による青パトの巡回も実施し、各所の協力を得て犯罪の抑止に努めた。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の刑法犯罪認知件数は減少傾向にあり、平成29年度から平成30年度にかけては114件から97件に減少している。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域安全指導員を確保するため、自治会による輪番制の導入について協議する必要がある。</li> </ul>	A	総務防災課
		<p>・地域防犯環境の向上を図るために、防犯灯の設置の支援や「子ども110番の家」の充実を促します。</p>	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会がLED防犯灯を設置する際の支援として、防犯灯設置補助金を交付することにより、設置の促進を図った。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯灯の設置実績103件</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会からの設置希望数が多く、全ての要望に対応しきれないのが課題である。</li> </ul>	A	
3-3	交通安全の推進	<p>・交通安全環境の向上を図るために、交通安全施設の整備や交通規則の見直しを要請します。また、誰もが交通事故の被害者や加害者にならないように、交通安全に対する意識を強く持つように啓発を強化します。</p>	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全協会や交通安全女性、可児警察署等と共に、交通安全立哨、啓発活動を実施した。町内全ての幼・保・小学校において全児童を対象に交通安全教室を実施した。</li> <li>・可児市防災安全課と連携し、交通安全に関する大会を開催するとともに、小中学生を対象としたポスター展なども実施するなど、交通安全の啓発に努めた。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間の交通事故発生件数は36件から15件に減少し、18歳以下の事故件数は0件であった。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、一人一人が交通安全を自分の事として、意識してもらうための手法について検討する必要がある。</li> </ul>	A	総務防災課

方向性	単位施策	施策の内容	平成30年度実績		
			実施した取組内容と成果及び課題	評価	担当課
3-4	スポーツの推進	<p>・町民が身近にスポーツを楽しむことができるように、スポーツ活動を推進する団体の支援や指導者の育成を充実するとともに、スポーツ施設・設備の計画的な維持管理を進めます。</p>	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ活動を推進する団体への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>御嵩町（可児郡）体育協会への支援</li> <li>町民ゴルフ大会（6/12）準備及び当日の事務支援</li> <li>ぎふ清流駅伝（10/21）説明会兼激励会の開催、試走等補助</li> <li>可児駅伝（12/9）準備及び当日の事務支援</li> <li>御嵩町スポーツ少年団への支援 団員登録、研修申込、会計等の事務支援</li> <li>スポーツ交流会の開催支援（上小 5/15、7/10、10/23、11/20、12/12、1/29、3/5）</li> </ul> </li> <li>・指導者の育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ推進委員の研修参加（6/23、9/1、10/27、2/9）</li> <li>ベアリング実技指導研修（あっと訪夢 12回（4/5～3/17）</li> <li>海洋性レクリエーションボランティア指導員の育成（町新人職員）</li> </ul> </li> <li>・スポーツ施設・設備の計画的な維持管理（調査の結果、水道管の修繕、体育館床下の修繕を行った。）</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育協会支援：ゴルフ協会と連携し町民ゴルフ大会を開催、136人参加</li> <li>・可児郡代表チームがぎふ清流駅伝に参加した。（27位/29団体中）</li> <li>・スポーツ少年団、体育協会の事務局を設置し補助を実施したほか、側面的な支援も行った。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育協会、スポーツ少年団ともに、会員（団員）が減少傾向にあり、施設利用者数が減少していることから組織活性化のためにも新規会員（団員）を確保する必要がある。</li> <li>・B&amp;G海洋センターをはじめ、社会体育施設の老朽化が進んでおり、長寿化計画の策定とそれに基づいた改修・更新について検討する必要がある。</li> </ul>	A	生涯学習課
3-4	保健予防事業の充実	<p>・町民一人ひとりが生活習慣に注意するなど、健康づくり意識を高めるとともに、町民の健康づくりのための活動を充実します。</p>	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に引き続き、連携協定を締結している企業等と協力し、健（検）診受診につながるよう声かけ、資料配布による啓発を実施し、受診率向上を図った。</li> <li>・平成30年度よりみたけ健康ポイント事業を実施し、健康の保持増進のためのきっかけづくりを行った。</li> <li>・健診後の相談・指導では、結果説明会等を設け、一人ひとりが生活習慣改善への取り組みを促すよう働きかけを行い、健康づくり意識の高揚を図り、生涯を通じて健康的な生活習慣を身に付けられるよう活動を展開した。</li> <li>・健康づくりのためテーマを絞り、飲酒量の適量や、病気からみた健診の大切さを記事にし、ほっとみたけに掲載・周知した。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みたけ健康ポイントには応募件数は1,599件を数え、44団体の登録が進んだ。</li> <li>・検診結果の説明等を通じ生活習慣の改善について意識の向上を図ることができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <p>40歳から74歳までの特定健康診査や乳・子宮がん検診の受診率が低いため、疾病予防の意識を高めるための啓発方法について検討する必要がある。</p>	A	福祉課
		<p>・若者から高齢者まで幅広い世代に対し、健康教育や健康相談を充実するとともに、心の悩みを抱える町民のサポートを行います。</p>	<p>【取組内容及び成果】</p> <p>&lt;保健師・管理栄養士による健康相談&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期のいきいき健康相談（33回開催）…延べ58人に対して実施</li> <li>・結果説明会（プレ健診・特定健診・すこやか健診事後）（計48回開催）…延べ223人に対して実施</li> <li>・骨粗しょう症検診結果説明（2回開催）…延べ135人に対して実施</li> <li>・乳がん検診（集団）当日の血圧測定と指導（4回開催）…延べ303人に対して実施</li> <li>・管理栄養士による栄養指導（5回開催）…延べ5人に対して実施</li> </ul> <p>&lt;健康教育（健康教室）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動教室（4回開催）…延べ39人に対し実施</li> <li>・健康教室（栄養）（1回開催）…延べ3人に対し実施</li> <li>・男性の料理教室（3回開催）…延べ17人に対し実施</li> </ul> <p>&lt;精神保健相談&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神保健福祉相談（10回開催）…延べ12人に対し実施</li> <li>・電話相談…延べ950件の相談を実施</li> </ul> <p>【課題】</p> <p>各種教室や相談における参加者はリピーターが多いため、現在の参加者以外の方々に参加していただくための啓発方法について検討が必要である。</p>	A	

方向性	単位施策	施策の内容	平成30年度実績		
			実施した取組内容と成果及び課題	評価	担当課
3-4	健康づくりの推進	<p>・町内の健康づくりを推進するリーダーとして、健康づくり推進員を養成します。</p>	<p>【取組内容】 年1回、講習会を実施しているが高齢化が進み、自主的な活動が難しく講習会以外の活動はできていないため、今後は以前から健康まつりや各種保健衛生事業にご協力いただいている保健推進員も活用しながら、健康づくりに取り組んでいくこととした。また、今年度からみただけ健康ポイント事業に新たに取り組むことで、一人ひとりが楽しみながら健康づくりに取り組むきっかけづくりとし、個人だけでなく各種スポーツ、サロン団体等へ団体登録を勧奨し、健康づくりに取り組んでいる団体活動が活発になるよう支援を行った。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくり推進員研修会 1回 2人参加</li> <li>保健推進員の乳幼児健診等の協力 延べ120人参加</li> </ul> <p>【課題】</p> <p>次年度から県のポイント事業を導入することとなり、その啓発や周知について、検討していく必要がある。保健推進員の次期任期（令和2年度から）からの健康づくりを推進する活動をどのように進めていくかを検討していく。</p>	A	福祉課
		<p>・子どもが健やかに成長するために、母子や乳幼児期からの健康づくりを支援します。</p>	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>母子保健事業により母子や乳幼児期からの健康づくりを支援している。中でも、妊婦健康診査の助成（14回分）を行い、母子の健やかな成長、安全な妊娠・出産の支援を行っている。</li> <li>乳幼児健診、育児相談、幼児相談などにより乳幼児の発達の不安や悩みの解消に努めた。</li> <li>予防接種では、訪問や個別通知、広報などでお知らせをし、確実に実施できるよう支援している。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>母親学級「プレママサークル」（年4回開催）…17人参加</li> <li>運動発達相談（11回開催）…延べ36人に対し実施</li> <li>赤ちゃんサークル（離乳食実習）（6回開催）…48人参加</li> <li>10ヵ月相談（毎月開催）…113人に対し実施</li> <li>2歳児歯科健診…136人に対し実施</li> <li>ワイワイひろば（毎月開催）…延べ171人の児とその保護者に対し実施</li> <li>幼児相談（24回開催）…延べ76人に対し実施（K式検査：延べ63人、相談のみ：延べ13人）</li> <li>がんばりママクッキング（2回開催）…27人参加</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>妊娠・出産前後で不安定になる母がいる中、妊娠時～就学前まで子とその保護者に対し、途切れなく関係機関や他部署と連携ができるような体制が必要である。</li> <li>療育が必要な子供が療育機関につながるよう体制の整備を行う必要がある。</li> </ul>	A	
3-4	食育の推進	<p>・町民の豊かな食生活を実現するために、学校・家庭・地域や地元農家などが連携して、安全な食の確保と食育を推進します。</p>	<p>保育園編</p> <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保育園では食育計画に基づき、年齢に応じた食育目標を立て、自然観察（苗植・種まき・水やり・収穫）、食体験（会食・クッキング）を、地域の民生委員などと協力しながら進めた。また、毎月の管理栄養士による園訪問にて、給食を摂りながら園児たちに食に関する情報を提供したほか、保護者懇談の時間を活用し管理栄養士による食習慣の確立に関して保護者へ啓発した。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食の大切さや必要性を年齢に応じ、園児たちに伝えることができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健全な食習慣を園児のみならず、家庭にも浸透させることができるよう、保護者への働きかけをより一層行う必要がある。</li> </ul> <p>保健センター編</p> <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各教室や家庭教育学級などへ食生活改善推進協議会による地域での食育の推進を行った。また、地元の高校生に食育の授業を行い、食に対する意識の高揚を図った。</li> <li>野菜ファーストキャンペーン事業として、食生活改善推進協議会が地元スーパーで野菜摂取の普及活動を行った。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象者に合わせた食の大切さや必要性を伝えることができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教室受講者の意識向上、行動変容が十分でないので、若者をモニターとした料理づくりや野菜摂取等を通じた食育推進など、教室受講者の行動変容へ繋がるよう事業を展開する。</li> </ul>	A	福祉課

方向性	単位施策	施策の内容	平成30年度実績			
			実施した取組内容と成果及び課題		評価	担当課
4-1	おもてなしの充実	・町民と来訪者とのふれあいを通して、御嵩の魅力を伝えていくため、町民のおもてなしの心の醸成、案内・ガイドの人材育成ならびに交流・ふれあい体験の開催などを進めます。	<p>【取組内容】</p> 地域住民・商店のおもてなしの心の醸成となる事業の実施（2件） ・4月～11月 宿の市 来訪者へのおもてなし目線での整備等の実施（5件） ・わいわい館おもてなしイベントの開催、及び施設内小修繕 ・観光案内看板製作（伏見西坂：可児才蔵看板）	・5月、11月 御嶽宿・伏見宿プランター寄せ植え ・諸之木峠公衆トイレ建設 ・観光パンフレット改正版作成（みたけみつけたび等）	A	まちづくり課
4-1	観光の魅力向上	・御嶽宿や伏見宿の保全・再生はもとより、地域の歴史や自然などの資源を改めて見直し、その資源を大切にしながら、町民、各種団体、事業者などが一体となって、新たな観光拠点の整備や特産品の開発・研究を進めます。	<p>【取組内容】</p> 行政及び各種団体による観光PR・ええもんPR等の実施（5件） ・6月 花あるき、ささゆりまつりでのええもん販売・PR ・10月、12月 みたけのええもん等販売促進事業（大阪、東京） ・12月 町イチ！村イチ！2018出店（東京） 魅力向上の為の町民団体による事業の実施 ・5月、10月 加茂農林高校との寄せ植え体験交流（2回） ・4月～3月 伏見ふれあい遊歩道整備	・8月 ラスパみたけにおけるええもん販売・PR ・10月 可児才蔵PRイベント ・12月 御嵩郵便局花壇の景観修景作業（1回）	A	まちづくり課
4-1	地域振興イベントの開催	・「よってりゃあみたけ～夢いろ街道宿場まつり～」や「みたけの森ささゆりまつり」など地域に定着したイベントをさらに盛り上げていくとともに、多くの人に御嵩町を訪れてもらえるよう、町民主体による様々な地域イベントの開催を支援します。	<p>【取組内容①】</p> 地域イベント支援の実施（6件） ・5月～6月 みたけの森花あるき ・10月 可児才蔵PRイベント ・2月～3月 御嶽宿・伏見宿のひなまつり	・8月 よってりゃあみたけ～夢いろ街道宿場まつり～ ・11月 中山道往来～なかせんでう うおーく（397人参加） ・4月～3月 エコピアガーデン	B	まちづくり課
			<p>【成果】</p> ・各イベントの認知度も上がりつつあり、町民自身の盛り上がりのみならず、町外からの参加者も増えつつある。			
			<p>【課題】</p> イベントの開催にあたっては天候に左右されることが多く、近年は台風やゲリラ豪雨などの自然災害が集中して発生しやすい環境下であり、誘客に大きな影響を与える。また一部イベントを有料化したことにより参加者の減少も判明した。企画段階において開催時期、運営方法等を十分に検討する必要がある。 引き続き観光基本計画を推進するなかで、新たなプレイヤーの発掘や各主催者が自立・継続した開催ができるよう、後方支援をしていく必要あり。			
			<p>【取組内容②】</p> 地域づくり活動助成事業を実施（6団体） （竹炭工房うとう坂、御嵩町ヘボ愛好会、みたけ落語会、ふしみこども食堂、一般社団法人てらす、御嵩町観光協会）			
			<p>【成果】</p> 各団体が助成金を有効活用し、地域を盛り上げるためのイベント開催や魅力あるまちづくりの整備が図られた。			
			<p>【課題】</p> 助成終了後も継続して（自立して）活動が展開できるよう、運営方法などについて有識者から助言を受けられる仕組みを考える必要がある。			

方向性	単位施策	施策の内容	平成30年度実績		
			実施した取組内容と成果及び課題	評価	担当課
4-2	タウンプロモーションの推進	・町の地域イメージの向上および地域のブランド化を進め、総合的に町の魅力を高めていくことを目指して、タウン・プロモーションを展開します。	<p>【取組内容】</p> <p>タウンプロモーションを展開するため、一般社団法人 移住・交流推進機構（JOIN）主催の移住相談イベント（東京ビッグサイト）に出展したほか、新たに民間ベンチャー企業主催の移住相談会（東京都渋谷区にて開催）にも出展し、御嵩町の魅力（自然環境、公共交通手段、子育て支援）を中心に移住のきっかけになるようPR活動を行った。また、出展時にはまちづくり課と連携して特産品販売事業者のPRを含めて実施するなど、移住・定住以外の要素も含めてPRを行った。</p> <p>【成果】</p> <p>「移住」を掲げるイベントであっても、開催時期によってイベント参加者（移住希望者）は、子育て世帯は夏休み期間、高齢者世帯は秋以降など、参加する世帯層が異なるため、多種多様な資料を持ち込むのではなく、イベント内容や開催時期を考慮し、移住希望者の年齢層に合わせた資料等を提供する必要があることを学んだ。</p> <p>【課題】</p> <p>農林課と連携して滞在型農業体験施設のPRを実施して町外からの利用者を増加させるとともに、当該施設を媒体とした関係人口及び交流人口の増加に繋げる必要がある。</p>	A	企画課
4-2	地域情報の発信強化	・まずは、様々な媒体を活用して、自然や歴史文化、地域産業など地域の魅力を積極的に町内外に情報発信します。	<p>【取組内容】</p> <p>月に1度発行する町の広報誌「ほっとみたけ」における情報発信はもちろんのこと、ホームページ、フェイスブック、ツイッターといったSNSを活用して、町の旬な話題、情報をタイムリーに発信した。また、スマートフォンやタブレット端末などの携帯端末が普及する中、より多くの方が気軽に町の情報を知っていただけるよう広報紙がスマートフォンから閲覧できる広報アプリ「マチイロ」の配信を開始した。</p> <p>【成果】</p> <p>マチイロの登録者数は3月現在約130名であるが、新たな情報発信の手段を展開することができた。</p> <p>【課題】</p> <p>行政用語をできる限りなくし、分かりやすい表現にできるよう、今後も継続して研究していく必要がある。</p>	A	企画課
		・総合的に地域の魅力を発信していく取組を通じて、より多くの人に「行ってみたいまち」、「住んでみたいまち」、「起業をしてみたいまち」と感じられる魅力あふれるイメージ形成を図ります。	<p>【取組内容】</p> <p>空き家バンク、子育て支援情報、地域の催し案内等「岐阜県御嵩町移住交流・子育て応援ポータルサイト」を活用し、地方創生事業との関連性を深化させるため、随時情報を更新し、情報発信を行った。</p> <p>【成果】</p> <p>移住相談イベントへの出展や、空き家バンクの掲載により問い合わせが増加し、空き家情報として掲載している物件以外にもないかと関東圏、中京圏にお住まいの方を中心にお問合せをいただいた。（相談件数：31件（窓口：1件、電話：2件、セミナー等：28件））</p> <p>【課題】</p> <p>滞在型農業体験施設の完成と併せて体験型プログラムを構築したため、周知・利用促進を図る必要がある。</p>	A	
4-3	工業団地の整備と企業誘致	・既存工業団地に工業用地を有する企業に対しては、工場の立地や拡張しやすい環境を整えるとともに、新たな工業団地の計画を推進します。	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岐阜県が行う工場用地開発可能性調査への情報提供を行った。</li> <li>岐阜県より権限移譲を受けた工場立地法の届出等についての適正な運用を行った。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>御嵩町工場誘致条例に基づく工場の指定申請が2件あり、奨励金交付を3件行った。</li> <li>工場立地法に基づく、緑地面積・生産施設面積変更等の届出が3件あった。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後奨励金に関する事務、工場立地法に基づく事務が増えることが予想されるため、適切な事務処理が行えるようにする必要がある。</li> <li>工場用地確保に向け、岐阜県が行う工場用地開発可能性調査の採択を目指す。</li> </ul>	B	企画課
4-3	将来につながる農林業の推進	・林業基盤の整備、計画的な施策推進により、着実に森林の整備・保全を進めます。	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>森林保全活動を目的とした森林ボランティア「水土里隊」の活動基盤である隊員の技術支援に努めた。</li> <li>学校の総合学習の時間等を活用して森林学習を行い、水土里隊の支援を受けて山に触れる活動を行った。</li> <li>可茂森林組合と協議するなどして、森林経営の拡大に努めた。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>将来を担う子どもたちの森林への意識を高めるとともに、水土里隊の活動の幅を広げることができた。</li> <li>森林経営信託地を核として、新たに8.68haの私有林において可茂森林組合が森林経営を受託し森林整備を進めた。</li> <li>新たに31.27haの森林経営計画を認定し、計画的に施策が進められることとなった。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>森林学習の参加者は年齢層も幅広いため、豊富な学習メニューが用意できるよう各関係団体と検討する必要がある。</li> <li>林業の担い手の多くが森林組合またはその下請けに限られており、担い手の確保が課題となっている。</li> </ul>	B	農林課

方向性	単位施策	施策の内容	平成30年度実績		
			実施した取組内容と成果及び課題		評価
4-3	将来につながる農林業の推進	・地域営農組織、新規就農者の育成支援などにより、担い手確保を図りつつ、バイオマス利用、地産地消の推進、環境にやさしい農業など未来につながる農業を展開します。	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地中間管理機構の窓口として、農地で困っている住民と営農法人等の農業者を仲介し、営農法人等を中心に施業集約化を進めている。</li> <li>・補助メニューを活用し、地元野菜を使用した学校給食を実施した。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食に地元産の野菜を使用することで地産地消を進めるとともに、子どもたちに地域の農業への意識づけができた。</li> <li>・施業集約化が進み、草刈りなどを営農法人内で協力して行うことが可能となっている。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業者の確保が十分でないため、人材確保について検討する必要がある。</li> </ul>	B	農林課
4-3	魅力的な商業・サービス業の育成	・町民の暮らしに必要な店舗の確保、国道21号可児御嵩バイパスが近接した立地条件を生かした店舗などの誘致を促すとともに、町の魅力化・個性化につながる商業の育成を図ります。	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>御嵩町観光基本計画の推進</li> <li>観光基本計画推進交流会の開催</li> <li>中核的な役割を担う「まちづくり会社」を中心に、宿場町人材育成事業を実施。空き家の利用価値創出のためのワークショップを開催した。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民をはじめ県内外から地域の活性化（まちづくり）に想いのある19名に参加していただいた。</li> <li>・住民目線、利用者目線、起業目線など多角的な視点での問題意識が共有できた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各団体やプレイヤーがそれぞれに活動しているため、各々が連携し合い商業発展につながる新たな事業展開を行うための交流の場を提供する必要がある。また、庁舎新設に併せて周辺環境が大きく変革していく中、新たな店舗誘致やサービス提供などの議論を展開していく必要がある。</li> </ul>	B	まちづくり課
4-3	起業支援と雇用機会の創出	・人材育成、創業支援などの取組を強化し、町の資源を生かして新たな事業に取り組んでみようという若者や女性を支援し、多様な雇用機会の創出につなげます。	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模事業者経営改善資金利子補給（10件 597,400円）</li> <li>・御嵩町観光基本計画の推進</li> <li>・商工会青年部と役場若手職員との意見交換会</li> <li>・観光基本計画推進交流会の開催</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域まちづくり会社により行政と地域プレイヤーをつなぐ中間支援組織としての活動が展開されている。</li> <li>・先端設備導入基本計画に係る認定事業者（3件）</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・起業支援の相談事例が少ないことが課題となっており、商工会との情報共有を密に行うとともに、「よろず支援拠点」等起業支援のツールを積極的にPRする必要がある。</li> <li>・観光の産業化にも繋がる新たな創業者への具体的な支援について検討する必要がある。</li> </ul>	B	まちづくり課
5-1	亜炭鉱廃坑対策の推進	・亜炭鉱廃坑の防災対策を進めるため、「南海トラフ巨大地震亜炭鉱跡防災モデル事業」を進めます。あわせて、継続的な防災対策が可能となるように国・県などへの要望を継続します。また、亜炭鉱廃坑対策の調査研究やハザードマップの更新に取り組めます。	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度から、平成28年度国補正により措置された「南海トラフ巨大地震亜炭鉱跡防災対策事業」において防災工事を実施している。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度は、第1期①地区1.97ha、あゆみ館0.78haの防災工事を完了した。また、第1期②地区4.2ha、第2、3期地区9.0ha、第4期地区2.9haの防災工事に着手した。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的に防災対策が可能となるよう引き続き国・県などへ要望していく必要がある。</li> <li>・亜炭鉱廃坑の調査研究やハザードマップの更新に引き続き取り組んでいく。</li> </ul>	A	亜炭鉱廃坑対策室
5-1	消防・救急体制の充実	・消防の機能や体制の充実を図るとともに、消防団を中心とした地域防災力の強化を図ります。また救急体制の充実に努めます。	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・可児郡連合演習において、4地区消防団合同で訓練を実施し、消防署とも共同で訓練を実施することで、各団体間の連携強化を図った。また、各消防団が町の防災訓練だけでなく地域の消火訓練にも主体的、積極的に参加した。</li> <li>・第3分団の小型ポンプを新しく更新し、機能維持を図った。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各消防団の連携及び消防団と消防署間の連携を強化することができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消防力の強化には地域住民の協力が不可欠であるため、いかに住民の防災意識を高め、協力していただけるかについて検討し、消防団員の確保及び防災リーダーの育成に努める必要がある。</li> </ul>	A	総務防災課

方向性	単位施策	施策の内容	平成30年度実績		
			実施した取組内容と成果及び課題	評価	担当課
5-1	信頼できる医療体制の確立	<p>・行政および地域の医療関係者相互の連携、広域的な連携を強化して、町民に迅速で適切な医療サービスを提供できる体制を確立します。</p>	<p>【取組内容】 可茂地域病院群輪番制病院設備整備事業負担金、救命救急センター運営費負担金などを支出し、地域医療・救急医療を推進を図った。各種健診や予防接種事業等を進めるにあたり、可児医師会・可児市と連携を図りながら事業展開を行い、口腔保健事業についても可児歯科医師会・可児市と連携を図りながら事業展開を行った。</p> <p>【成果】 ・町民に対し適切な医療サービスを広域的に提供できる体制を整えている。 ・子どもの予防接種では、一部を除き町内医療機関での個別接種を通年実施できる体制を整備した。</p> <p>【課題】 町内以外に可児市医師会内の医療機関で検診等が実施できないか検討する必要がある。</p>	A	福祉課
5-1	治山治水対策	<p>・森林・農地の保水機能を保持するとともに、山地崩壊・土砂流出を予防するための調査ならびに治山・砂防工事を推進します。また、水害防止のための河川改修などについても計画的に推進します。</p>	<p>【取組内容】 ・治山事業の事業主体である岐阜県と協力し、事業実施に向けて対象地の保安林指定に向けた所有者との協議などを行った。 ・岐阜県へ継続的に要望している事業について、可茂農林事務所との行政懇談会において所長に対して要望を行った。</p> <p>【成果】 ・事業要望箇所7箇所に対し2箇所の治山事業が岐阜県事業として着手された。うち1箇所は平成30年度中に完成し、もう1箇所は平成31年度完成予定となった。 ・要望箇所の5箇所は予算や条件が整わない等の理由から事業実施が見送られ、平成33年度までの実施目標13箇所に対し、6か所の実施に留まっている。</p> <p>【課題】 ・治山事業の実施可否は岐阜県の予算に左右され、計画どおりに事業を進めることができていないため、引き続き県へ要望していく必要がある。 ・治山事業と併せて河川の護岸工事が必要となる箇所など、保全対象の状況により治山事業を行っても効果が見込まれない現場があり、県の土木事務所等を含めた広域的な連携が必要であるが、対応に苦慮している。</p>	C	農林課
			<p>【取組内容】 H30年度中に井尻川改修工事に必要となる事業用地を確保した。</p> <p>【成果】 土地売買契約を締結し、所有権移転登記まで完了した。また、工事発注手続きも完了し、令和元年度に井尻川改修工事を施工できる状況となっている。</p> <p>【課題】 水害発生防止のために河川改修をさらに進める必要があり、井尻川改修工事の別工区についても計画的に推進を図る必要がある。</p>	A	建設課
5-2	地域文化の創造	<p>・地域の伝統や個性に根ざした町民の自主的な活動を通じて、住民団体による新しい文化活動を推進し、「みたくらしさ」が感じられる地域文化を創造します。</p>	<p>【取組内容】 (図書館) エントランスでの「ミニ展示」9回、「一般向け講座」5回、「親子向け講座」2回を開催した。また、毎月の定例行事として、絵本などの読み聞かせ、映画上映会を実施した。 (郷土館) 「企画展」2回、「文化財保護保存紹介展」1回、2階ロビーでの「ミニ展示」3回、「講座(陶芸教室・ウォーキング含む)」4回を開催した。そのほか、「文化協会作品展」、「御嵩町内学校美術作品展」、「御嵩町美術展」を5分野に分けて開催した。また、郷土資料等収集事業として、御嵩町出身作家の絵画等を購入した。 (竹屋資料館) 「ミニ展示」13回、「講座」4回、竹屋茶室を利用した「お茶会」4回を開催した。</p> <p>【成果】 図書館・郷土館・竹屋資料館の3館とも、魅力ある行事等を複数開催した結果、館全体の入館者数は図書館・郷土館55,278人(前年度比-8,933人)、竹屋資料館7,496人(-1,968人)にとどまった。</p> <p>【課題】 入館者数の減少については、子どもの読書離れ、施設の老朽化、平成29年度に開催した特別展が好評をいただいたことなど、複数の要因が考えられるが、魅力ある施設づくり及び行事等の運営を開催していくことが課題としてあげられる。平成31年度についても、引き続き利用者の目線に立った施設の魅力アップに努めていく必要がある。</p>	B	生涯学習課

方向性	単位施策	施策の内容	平成30年度実績		
			実施した取組内容と成果及び課題	評価	担当課
5-2	歴史文化の保全と承継	<p>・本町は中山道の宿場町および願興寺の門前町として栄え、その時点から400年以上の歴史があります。こうした町の歴史文化、伝統が次の世代に継承されるよう、文化遺産の保存、伝統行事の継承を進めるほか、町民が歴史を学ぶことのできる機会を提供します。</p>	<p>【取組内容】 平成9年度より実施してきた「中山道」整備事業である「歴史の道整備活用推進事業」を経て、平成28年10月には、町内の「中山道」14.5kmのうち、3.6kmが国史跡として指定されたことを受け、今後の「中山道」の保存と活用についてを計画する「中山道保存活用計画」の策定を完了した。また、国重文「願興寺本堂修理」についても平成29年度から10年間に渡る事業として継続実施している。</p> <p>【成果】 「中山道保存活用計画」の策定に際しては、地元住民を交えた委員会を組織し、地域とともに「中山道」を保存継承していくための協議をおこない、その足掛かりをつくることができた。また、国重文「願興寺本堂修理」に関しては、映像記録の作成や現場見学会を定期的に開催し、関心を高めることができた。</p> <p>【課題】 これまでも、中山道みたび館を拠点とした展示や講座等を通して貴重な文化財について周知を図ってきたが、今後も御嵩町の歴史的な財産である「中山道」や「願興寺」はもちろんのこと、町内に点在する文化遺産の保存、継承、活用に努めていく必要がある。</p>	A	生涯学習課
5-2	景観の保全	<p>・町の大きな魅力の一つである自然景観や田園景観など“みどりの景観”を、町民の誇れる財産として守り育てます。そのため、林業の計画的な施策や農地保全を進めるとともに、みどりを守り育てる住民団体の活動を支援します。</p>	<p>【取組内容】 ・森林法による伐採届出の際に御嵩町森林整備計画の適合確認や農地法第5条の転用に係る規制、御嵩町太陽光発電の推進及び適正管理に関する条例に規定する届出義務の付加等、各種法規制により景観保持を行っている。 ・物品の支給等、森林ボランティアの活動支援を行った。</p> <p>【成果】 ・各種法規制により景観保持がなされている。 ・森林ボランティア団体へ1名の新規入隊者があった。 ・企業の森活動を支援し、森林内の景観整備が進んだ。 ・ボランティア団体の活動を後押しすることができた。</p> <p>【課題】 一般住民の参画を促す啓発活動を一層推進する必要がある。また、森林ボランティア構成員の高齢化が進んでいるため、新たな人材の確保を検討する必要がある。</p>	A	農林課
5-3	公共交通の利用促進と体系の見直し	<p>・鉄道事業者と協力して名鉄広見線の利用促進を図ります。また、駅周辺での都市機能集積を促すとともに、バスや自転車、駐車場との連携強化を進めます。</p>	<p>【取組内容】 ・昨年度に引き続き、名鉄より企画きっぷを販売していただいた。 ・名鉄広見線活性化協議会の補助制度を継続して実施した。 ・活性化協議会主催イベントや他イベントへの電車来訪特典事業を実施した。 ・活性化ニュースを4回発行、またInstagram、Facebook、Twitter、LINEの公式アカウントの運用を開始した。</p> <p>【成果】 ・企画きっぷ：400枚の購入があった。(H29年度比▲71枚) ・補助制度：延べ804名・52団体の申請があった。 ・活性化協議会イベント：計1,172名(カレー太郎電鉄128名、ポスター作品募集176名、3市町を巡るモニターツアー48名 など) ・電車利用特典事業：計1,012名(ささゆりまつり76名、よってりゃあみだけ855名、乳幼児家庭教育学級52名、環境フェア・環境フェスタ29名) ・活性化ニュースを4回発行した。各種SNSでは随時イベント告知などを行い、順調にフォロワー数を伸ばした。</p> <p>【課題】 ・企画きっぷ：地域外からの利用促進に効果があるため、積極的かつ多様なPR、他イベントとの組み合わせ、まちづくり課や偲歴会等と連携して沿線市町の観光資源の紹介、発掘、創出等により、引き続き販売数の増加に取り組む。 ・補助制度：地域内外の利用促進のため、沿線の高校生や工業団地の通勤者等へ補助制度自体の周知を徹底する必要がある。 ・多様な情報発信を念頭に置きながらも、若～中高年層のさらなる利用促進に繋がるよう各種SNSの活用に注力する必要がある。</p>	A	企画課
5-3	道路の整備と維持管理	<p>・道路や橋、トンネルなどの構造物の適正管理と長寿命化により、安全・安心な道路環境づくりを推進するとともに、国道、県道を含めた幹線道路の改良・整備を促進します。</p>	<p>【取組内容】 ・橋梁長寿命化修繕計画に基づき、修繕工事(美佐野高橋)を実施した。 ・町内の橋梁については、道路法に基づいてH26～H30を1巡目(5年に1回以上の点検が必要)として点検を行う予定であったが、H29年度に1巡目の点検を終え、H31(R1)～R5年を2巡目として点検を実施していく予定である。</p> <p>【成果】 ・計画的な修繕により道路整備、維持管理が進み、安全性が向上した。</p> <p>【課題】 ・引き続き、国・県との事業調整会議を開催し、主要道路の改良整備を進めるよう要望を継続する必要がある。</p>	A	建設課

方向性	単位施策	施策の内容	平成30年度実績		
			実施した取組内容と成果及び課題	評価	担当課
5-3	地域環境の美化促進	<p>・環境汚染防止のための監視体制を強化するほか、環境美化活動を推進します。また、空き家・空き地の適正管理を促すとともに、これらを活用した移住者の受け入れなど地域振興に生かします。</p>	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・監視による不法投棄の抑止力として、不法投棄パトロールを毎週1回実施した。</li> <li>・住民の方に町内一斉清掃、可児川クリーンキャンペーン等、環境美化行事への参加を促すよう回覧や広報で周知し、環境美化活動の推進を図った。</li> <li>・毎週日曜日に、不法投棄監視パトロールを実施し、不法投棄の防止、迅速な発見、不法野焼きに対する指導に努めた。</li> </ul> <p>【成果】</p> <p>町民に対して5月に町内一斉清掃、11月に松野湖クリーン作戦、2月に可児川クリーンキャンペーンに関する啓発をおこない、大勢の方にご参加いただいた。（一斉清掃：52自治会、松野湖：227人、可児川クリーン：619人）</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃活動等のみならず、住民一人一人の意識や環境への関心を高めるための方策を検討する必要がある。</li> </ul>	A	住民環境課
			<p>【取組内容】</p> <p>危険な空家について、適切な管理をしていただくよう通知、訪問を行った。略式代執行により特定空家の除却を実施した（1件）。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所有者による特定空家の自主解体につながった（2件）。</li> <li>・長年の懸案事項であった特定空家について略式代執行を実施できたことで、代執行のノウハウを得た。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定空家の所有者がいかに危険な建物であるかを自覚してもらい、自主的な解体へ促すまでが、非常に困難である。</li> </ul>	A	総務防災課
			<p>【取組内容】</p> <p>空き家バンク制度の協力事業者（町内不動産業者）との信頼が深まり、空き家バンクの登録件数及び成約件数を増加させた。町全体の空き家バンクに係る登録申請件数はまだまだ少ないが、宅建協会の意見交換会に出席し、可茂管内においては成約件数が多く、比較的良好な運用ができていることを確認できた。</p> <p>【成果】</p> <p>空き家バンクの物件として登録された物件はこれまで総件数38件、成約件数は16件。（その内平成30年度中の成約件数5件）</p> <p>【課題】</p> <p>空き家バンク制度による登録物件の売買契約の成立は、物件の適正管理にもつながるため、当該制度を今後も推進していく必要がある。そのため、空き家バンクに登録を促すため、別途制度創設を検討する必要がある。</p>	A	企画課
5-3	都市公園等の維持管理	<p>都市公園である南山公園をはじめ、身近な公園や緑地の整備や適正な維持管理を推進し、緑豊かな憩いの場づくりに努めます。</p>	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市公園である南山公園は管理委託業務にて定期的な維持管理を実施するとともに、遊具は専門業者による年2回の点検及び職員による毎月点検を実施した。（点検結果に基づきローラー滑り台のローラー交換等を行っている。）</li> <li>・イノシシ被害が多かった出会いの広場への階段付近法面について落石による怪我等を防止するため柵を設置し、こども広場の法面が崩れて土砂が堆積していた分を除去する等の修繕を行い緑地の整備や適正な維持管理を推進した。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イノシシ被害の軽減等、適正な管理ができています。</li> </ul> <p>【課題】</p> <p>遊具の維持管理・更新等を検討し、魅力ある公園づくりに努める必要がある。</p>	A	建設課
5-3	上下水道の整備と維持管理	<p>・安全で安心な水を安定的に供給するとともに、生活排水処理施設の整備などに取り組み、環境保全に努めることで、衛生的で快適な生活環境づくりを推進します。</p>	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長岡配水池から上之郷中学校までの重要給水施設配水管整備事業は、大口径部分のφ350配水管の耐震化が完了した（上水）。</li> <li>・平成29年度末で老朽管改築事業（下水道長寿命化対策事業）を完了したが、その後も主要な管路等について定期的に点検調査を実施しており、平成30年度も点検結果により必要となった老朽管改築を実施した（下水）。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹上水道管路の耐震化率向上に努めることにより、地震時においても、安定的に水を供給できるよう、徐々にあるが努めている（上水）。</li> <li>・下水道の整備促進、維持管理に努め、老朽管改築事業による不明水対策の実施により汚水の地下浸透を防止し、衛生的で快適な生活環境の確保に努めている（下水）。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、耐用年数を経過した上水道施設・管路が増加して、更新費用の増加が見込まれることから、限られた財源の中で経費の削減に努めながら継続的に、耐震化を進める必要がある（上水）。</li> <li>・今後経年により劣化が進行する下水道管路施設について、限られた財源の中で継続的に、かつ効率的な維持管理を行う必要がある（下水）。</li> </ul>	A	上下水道課